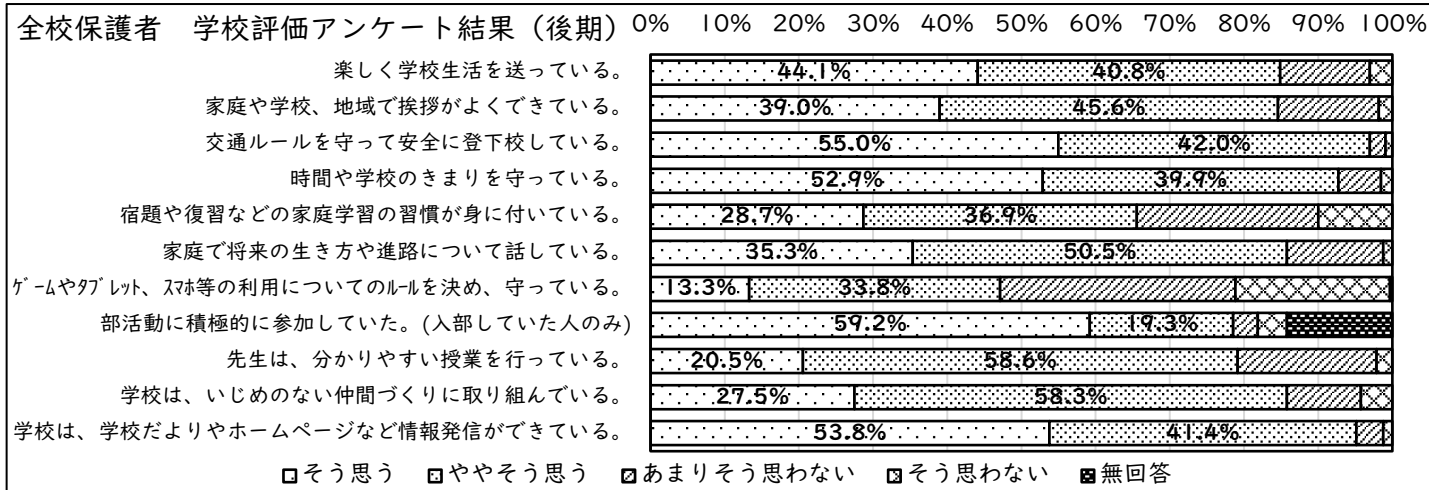
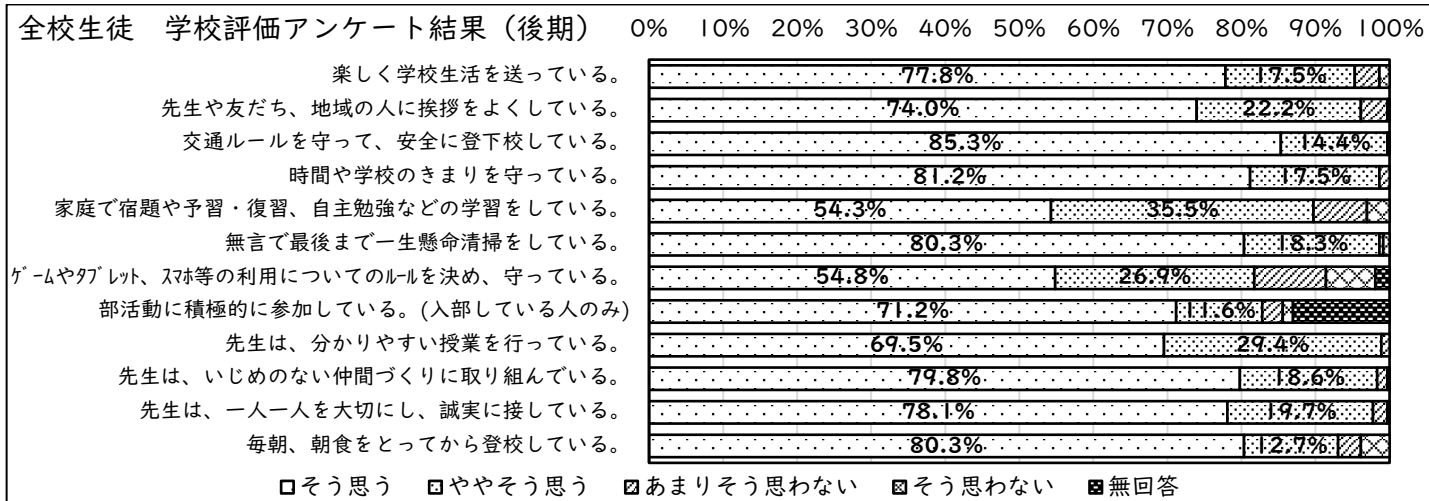


令和5年度 学校評価（後期）



- 「楽しく学校生活を送っている」「挨拶をよくしている」「安全に登下校している」「きまりを守っている」「一生懸命清掃をしている」「部活動に積極的に参加している（部活動に入部している生徒のみで再集計）」の質問に 95%以上の生徒が肯定的に回答しています。素直で真面目な生徒が多く、仲間を信頼し、協力して学校生活を送っています。挨拶もよくできており、時間や学校のきまりを守り、清掃や部活動にも一生懸命に取り組んでいます。一方で、困り感を持ち、自己肯定感が低い生徒、不登校傾向の生徒、個別の支援や配慮を要する生徒もいます。今後も、生徒に寄り添い、丁寧な指導・支援を継続していきます。
- 「家庭で将来の生き方や進路について話している」の質問の保護者の肯定的な回答が前期と比べて 10%以上増加しています。各学年のキャリア教育の取組とご家庭のご協力による結果だと言えます。しかし、「家庭で学習をしている」の質問の生徒の肯定的な回答は 90%に届きませんでした。「家庭学習の習慣が身に付いている」と回答した保護者は 65.6%でした。主体的に学習に取り組む態度（学びに向かう力、人間性等）の育成については、まだまだ課題があります。また、「先生は分かりやすい授業をしている」と回答した生徒は 98.3%でしたが、保護者は 79.2%でした。ICTを効果的に活用しながら授業改善を図るとともに、しっかりと学力を身に付けることができるように指導を改善する必要があります。また、家庭での学習についても、自らのために進んで行く、個別最適な学びへと変容していくように意識の向上を図っていきます。授業参観の機会を増やし、授業の様子を見ていただくなど、家庭との連携を図っていきます。
- 「ゲームやタブレット、スマホ等の利用についてルールを決め、守っている」の質問についての肯定的な回答は、生徒は 81.7%、保護者は 47.1%でした。前期の評価よりも若干の向上があったものの、依然として低い状況です。ほとんどの家庭で、スマホ等が日常的に使用されている中で、ルールを決めていなかったり、ルールを決めていても守れていなかったりする家庭があるようです。これらの電子機器の適切な使用について、昨年度学級会や生徒総会でも話し合い、ルールやマナーの制定をしています。SNSを利用したトラブルも複数発生しており、指導に苦慮しているところです。今後も引き続き、生徒の意識向上を図るとともに、保護者への啓発を継続していきます。
- 毎日朝食をとって登校している生徒は 80.3%でした。ときどき朝食をとらない生徒が 12.7%、ほとんど朝食をとらない生徒が 3.0%、全く朝食を取らない生徒が 3.9%います。夜間のスマホ等の利用も含めて、生活習慣の乱れが学校生活にも悪影響を及ぼしている状況もみられます。家庭と生徒の双方の意識向上を図る指導や啓発を引き続き行っていきます。
- 「先生はいじめのない仲間づくりに取り組んでいる」の質問への肯定的な回答は、生徒は 98.3%、保護者は 85.8%でした。全ての教育活動を通して行われる道徳教育や人権・同和教育、積極的な生徒指導等によって、学年・学級経営の充実が図られていると思われます。一方で、否定的な回答も見られます。今後も、生徒の声に耳を傾け、日常の観察や積極的な教育相談を行って生徒の様態の把握に努め、適切な指導・支援に努めてまいります。
- 「学校は情報発信ができています」の質問に対して、保護者の 95.2%から肯定的な回答をいただいています。ほぼ毎日更新しているホームページの閲覧件数からも、本校の教育活動に対する保護者や地域の皆様の関心の高さが伺えます。
- 学校評価の結果を踏まえて、教育活動の改善を図ってまいります。皆様のご理解、ご協力、ご助言をよろしく願います。